



総研大ニューズレター

第33号 2011.2 発行

●目次

【今月のトピックス】 「平成22年度 総研大・生理研 国際シンポジウム・ポストイベント 開催」
生理学専攻
 「国立極地研究所 南極・北極科学館サイエンスカフェ 開催」
国立極地研究所
 「国立歴史民俗博物館 「歴博講演会」 開催」
国立歴史民俗博物館
 「先導科学研究科オープンキャンパス 開催」
総務課

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

2月7～22日 アジア冬の学校2010（物理科学研究科）
 3月18日 統計科学専攻・学生研究発表会
 3月18日 北川教授（所長）最終講義
 3月23～24日 学術交流会
 3月24日 学位記授与式
 3月24日 長倉研究奨励賞・総合研究大学院大学 研究賞 発表会・授与式
 4月7日 入学式
 4月7日 総合研究大学院大学 学長賞授与式

【今月のトピックス】

● 平成22年度 総研大・生理研 国際シンポジウム・ポストイベントを開催



総研大・生理研主催の国際シンポジウムが平成22年12月16日（木曜日）から18日（土曜日）の3日間、愛知県岡崎市の岡崎コンファレンスセンターにおいて開催されました。New Frontiers in Brain Science: Towards Systematic Understanding of Human Beings（脳科学の最前線-人間の統合的理解を目指して）と題した今回のシンポジウムでは、海外（米英仏西の各国）

から8名、国内から18名の著名な研究者を招き、大きく分けて1. Social and cognitive brain (社会・認知脳) 2. Recent advance in brain science (最近の脳科学研究の成果) 3. Neuroethics (脳倫理) の3つのトピックスによりセッションが行われました。脳科学を専門とする研究者・学生を中心に、生命科学専攻の総研大生、総研大教員も含む164名の参加が全国各地から(一部、海外からも)あり、活発な意見が交わされました。

シンポジウムは高畑尚之学長の歓迎の挨拶から始まりました。初日16日前半の社会・認知脳のセッションでは、社会と個人の関係、倫理観、経済行動(意志決定)、顔認知などの脳科学的基礎や自閉症について議論されました。初日後半から17日夕方までは、最近の脳科学研究のセッションで、新しい手法によりわかってきた大脳基底核や小脳・大脳皮質を巡る線維連絡、大脳基底核・大脳皮質・脳幹の機能に関する最新知見、神経疾患の病態やその治療法などについて紹介され、それに基づいて議論が行われました。最終日18日午前の脳倫理のセッションでは、ヒト社会の脳科学的基盤、社会が脳科学を受け取る際の問題点などについて議論されました。また、初日16日の夕方には、総研大生を含む学生・若手研究者によるポスターセッションが行われ、37のポスターがコンファレンスセンターの廊下に張り出されました。高畑学長がポスター発表者の説明に聞き入る様子も見受けられ、大変盛況なセッションとなりました。



最終日の18日午後には、ポストイベントとして一般向けの日本語による講演会「神経科学神話を超えて」が開催されました。地元新聞での広報の成果もあり地域の方々が数多く足を運んでくださり、全体で182名の参加者がありました。まず池内了理事がオーガナイザー・話題提供者として登壇し、続いて本学教授を含む4名の研究者により、近年の「脳」ブームにまつわる問題点や背景などについて、分かりやすくも考えさせられる講演が行われました。質疑応答も予定より時間をオーバーして行われ、一般の方々と研究者が熱心に意見を交わす意義深いイベントとなりました。

脳機能の解明を目指した研究、精神神経疾患の病態や治療法などの研究が確実に進展しており、取り扱う範囲も文化や社会構造などにも広がっていることを実感した3日間でした。また、これらの成果を社会にどのように伝えるのかも、研究者が取り組むべき問題だと思います。シンポジウムの一部を、総研大内でweb上に公開する予定ですので、興味がある方はご覧頂ければと思います。



本シンポジウムは学生・若手研究者が、著名な研究者とくに海外の研究者と、じっくり話し合える貴重な機会を提供したと思います。また、総研大生と若手研究者の交流会も行われたとのこと。最後に、本シンポジウムが成功のうちに終了したのは、実施委員、生理研技術課・事務および生体システム研究部門を中心としたスタッフの協力のお陰であり、感謝したいと思います。

【文責 生理科学専攻 教授 南部篤】

● 国立極地研究所 南極・北極科学館サイエンスカフェを開催



情報・システム研究機構 国立極地研究所は、平成22年12月25日に「南極・北極科学館サイエンスカフェ」を開催しました。「聖夜のオーロラ物語」をテーマに、宮岡宏准教授（国立極地研究所・宙空圏研究グループ）を講師に迎え、北極のオーロラ映像や写真を交えながら、人とオーロラとの関わり、オーロラができる仕組み、今取り組んでいる研究について解説しました。参加者数は約40名で、参加者にとってオーロラの知識を深める貴重な体験となりました。また、オーロラというテーマに加え、この日はクリスマスだったこともあり、非常に神秘的なサイエンスカフェになったという感想が寄せられました。

【文責 国立極地研究所】

● 国立歴史民俗博物館「歴博講演会」を開催

国立歴史民俗博物館では、毎月第2土曜日に歴史・民俗に関する様々なテーマで、一般の方を対象に講演会を開催しています。1月8日（土）には、新年最初の歴博講演会として民俗研究系常光徹教授を講師に、「しぐさの民俗」と題する講演をおこないました。

今回は、先生がご専門とするまじないやしぐさの民俗をめぐる研究の中から、呪術的な意味を帯びたしぐさと、クシャミのまじないを取り上げお話しをされました。

しぐさについて、怪異や妖怪に遭遇したときどうすれば難を免れるか、その対処法としての呪的なしぐさが各地に伝承されている例を紹介されました。たとえば、漁師たちは、海上で怪しい船に出合ったら「股のぞき」をして見るとよいという俗信を伝えている、というようなことです。これは股の間から覗き見ると幽霊船かどうかのわかるといい、このしぐさが日常の時空間の外側の世界と結びついていることを示唆しているようです。また、狐狸の類に化かされそうなきには、指を組んで「狐の窓」をつくり、中央の穴から見ると相手の正体がわかるといいます。こうした呪的なしぐさのもつ民俗的な意味と構造について語られました。

つぎに、クシャミのまじないについて挙げられました。クシャミにまつわる民俗は実に多彩ということです。出かかると自らの意志では制御し難いこの生理現象に対する人々の意識がさ



まざまな形で表出されている、という点を指摘されました。その根底には激しく息をはきだすことが靈魂の動揺や逸脱を誘発するのではないかとの不安が読み取れるといえます。クシャミをした直後に発する多様な呪文に注目し、その民俗的な背景について述べられました。

当日は民俗学に関心のある一般の方々123人が参加され、クシャミをした直後に発する呪文の紹介などうなずきながら、最後まで熱心に聞き入っていました。

【文責 国立歴史民俗博物館】

● 先導科学研究科オープンキャンパスを開催

去る1月7日（金）及び8日（土）の2日間にわたり、葉山キャンパスにおいて先導科学研究科（生命共生体進化学専攻）のオープンキャンパスが実施され、晴天の中、多くの参加者が来学されました。

両日とも、全国各地から集まった参加者に対し、本学の教員から、それぞれの研究分野・研究テーマについてパワーポイント等を用いた説明があり、積極的な質疑応答が繰り広げられました。

また、研究分野等の紹介が終わった後は、研究テーマごとのポスターセッション、在学生からのメッセージ及び教員や在学生との情報交換会を行い、実際の大学の雰囲気を感じ取る機会を持ち、翌日には、在学生や教員とともに参加者全員が各研究室を回り、最先端の研究が行われている現場を見学しました。

その後も各教員との個別相談が予定時間を超えて続けられ、無事解散となりました。

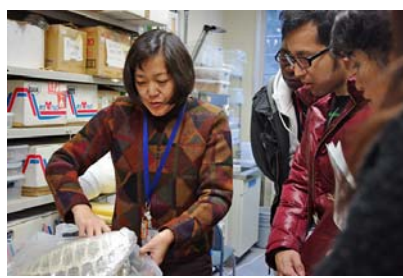
生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス スケジュール概要

● 1月7日（金）

- 14:00-14:20 生命共生体進化学専攻の概要説明
- 14:20-14:40 カリキュラム・入試に関する説明
- 14:50-17:05 各教員の研究内容紹介
- 17:05-17:30 在学生の紹介とメッセージ：総研大生の生活について
- 18:10-21:00 ポスター説明、情報交換会

● 1月8日（土）

- 9:30-12:00 ラボ見学ツアー



【文責 総務課】

【各種募集】 現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

2月

日程	時間	行事名	場所
7日(月) -11日(金)		アジア冬の学校 2010 http://vsop.mtk.nao.ac.jp/EAIWS2010/	国立天文台 三鷹キャンパス
15日(火) -17日(木)		アジア冬の学校 2010 http://www.isas.jaxa.jp/sokendai/winter_school/index.html	JAXA 相模原キャンパス
15日(火) -18日(金)		アジア冬の学校 2010 http://www-nsrp.nifs.ac.jp/aws/index.shtml	核融合科学研究所
19日(土) -22日(火)		アジア冬の学校 2010 http://www.ims.ac.jp/aws10/index.html	岡崎コンファレンスセンター

3月

日程	時間	行事名	場所
18日(金)	13:00-15:15	統計科学専攻・学生研究発表会 http://www.ism.ac.jp/senkou/	統計数理研究所 3階 セミナー室1(D305)
18日(金)	15:30-17:00	北川教授(所長)最終講義 http://www.ism.ac.jp/senkou/	統計数理研究所 2階 大会議室
23日(水) -24日(木)		学術交流会	湘南国際村センター
24日(木)		学位記授与式	葉山キャンパス
24日(木)		長倉研究奨励賞・総合研究大学院大学 研究賞 発表会・授与式	葉山キャンパス

4月

日程	時間	行事名	場所
7日(木)		入学式	葉山キャンパス
7日(木)		総合研究大学院大学 学長賞授与式	葉山キャンパス

● 基盤機関の行事

2月

日程	時間	行事名	場所
10月23日(土) -3月31日(木)		貴重書展示「渋川春海と『天地明察』-Ⅱ」 http://library.nao.ac.jp/kichou/open/043/index.html	国立天文台図書室
1月8日(土) -3月31日(木)		春のみんぱくフォーラム 2011— ことばの世界へ http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/	国立民族学博物館

1月9日(日) -3月27日(日)	13:00-14:30	「春のみんぱくフォーラム 2011— ことばの世界へ」関連 ことばで世界一周	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/sekai.html			
1日(火) -4日(金)	10:00-16:00	公開講座「統計学概論」	統計数理研究所 大会議室(B-201)
http://www.ism.ac.jp/lectures/22n.html			
1日(火) -28日(月)		「春のみんぱくフォーラム 2011—ことばの世界 へ」関連 展示場クイズ「みんぱQ ことば編」	国立民族学博物館 本館言語展示場
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#quiz			
5日(土)	14:30-16:30	歴博映画の会	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html			
6日(日)	13:00-15:30	宇宙学校・しんじゅく	新宿区立落合中学校 主催:JAXA 宇宙科学研究所
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/2011/0206_shinjuku.shtml			
6日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン-研究者と話そ う 第192回講演「チョコレートが育てる文化」	国立民族学博物館 本館展示場内ナビ広場
http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html			
8日(火)	10:00-16:00	公開講座「マルコフ連鎖モンテカルロ法の基 礎と実践(2011年版)」	統計数理研究所 大会議室(B-201)
http://www.ism.ac.jp/lectures/22p.html			
2月8日(火) -4月3日(日)		和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/others/press/p110208.html			
12日(土)	11:00-12:00	歴博探検「れきはくのコンピュータをさがそう」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore.html			
12日(土)	12:00-15:30	MMP「点字教室」	国立民族学博物館 本館1階エントランスホー ル(無料ゾーン)
http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#tenji			
12日(土)	14:00-16:00	第326回歴博講演会「戦後民衆史を歩く」	国立歴史民俗博物館
13日(日)	14:30-15:30 (予定)	「春のみんぱくフォーラム 2011—ことばの世界 へ」関連 みんぱくウィークエンド・サロン-研 究者と話そう 第193回講演「居庸関碑文の魅力」	国立民族学博物館 本館言語展示場
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#week			
16日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第8回「脳でモノを見る—脳の中に創られる世 界とは?—」	学術総合センター 2階中 会議場
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
19日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	新言語展示関連 第393回みんぱくゼミナ ール「日本の文字・世界の文字」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html			

19日(土)	13:00-17:00	「春のみんぱくフォーラム 2011—ことばの世界へ」関連 人間文化研究機構 第14回公開講演会・シンポジウム「ことばの類型と多様性」	東京都千代田区有楽町マリオン11階 有楽町朝日ホール
	http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/110219.html		
20日(日)	10:00-19:00	博学連携ワークショップ 学校と博物館が学びあえる場の構築をめざして	国立民族学博物館 本館2階第5セミナー室、 本館展示場
	http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/110220.html		
20日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第194回講演 「増えるネパール料理店の考現学」	国立民族学博物館 本館展示入口
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		
26日(土)	13:30-15:30	第143回くらしの植物苑観察会 「漆(うるし)の魔力」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html		
26日(土)	13:30-16:00 (開場:13:00)	みんぱく映画会/みんぱくワールドシネマ 映像に描かれるく包摂と自律> 「あなたなしでは生きていけない」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/movies1102.html		
27日(日)	午前(国際ワークショップ): 10:00-12:00 午後(国際シンポジウム): 13:30-17:00	機関研究「支援の人類学」国際シンポジウム 「世界における無国籍者の人権と支援-日本の課題」 Human Rights and Support for Stateless People around the World: Japan's Role	国立民族学博物館 午前:第4セミナー室 午後:講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/research/fr/20110227.html		
27日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第195回講演 「マチュ・ピチュ発見100周年」	国立民族学博物館 本館展示場内ナビ広場
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		

3月

日程	時間	行事名	場所
3月1日(火) -5月5日(木)		企画展示 侯爵家のアルバム -孝充から幸-にいたる木戸家写真資料-	国立歴史民俗博物館
3月3日(木) -6月14日(火)		特別展「ウメサオタダオ展」関連企画展 「民族学者 梅棹忠夫の眼」	国立民族学博物館
5日(土) -6日(日)		国際シンポジウム「『日常』を構築する- アフリカにおける平和構築実践に学ぶ」	国立民族学博物館 5日:講堂 6日:第4セミナー室
6日(日)	13:30-14:30	みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第196回講演 「アマゾンのゴムブーム」	国立民族学博物館
6日(日)	15:00-16:30 (開場:14:30)	「春のみんぱくフォーラム 2011— ことばの世界へ」関連 特別講演 「ごみたろう ことばをかたる」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#gomi		
3月10日(木) -6月14日(火)		特別展 ウメサオタダオ展	国立民族学博物館 特別展示館
	http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/		

11日(金) -13日(日)	11日: 10:00-17:15 12日: 10:00-17:15 13日: 13:10-16:30	人間文化研究機構国際シンポジウム 「世界の捕鯨文化の過去、現在、未来」	国立民族学博物館 11日・12日:2階第4セミナー室 13日:2階第5セミナー室
	http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/110219.html		
11日(金)	14:00-17:30	データ同化研究開発センター 設立記念シンポジウム データ同化:計測と計算の限界を超えて	統計数理研究所 2F 大会議室
http://daweb.ism.ac.jp/contents/information/dasympo2011.html			
12日(土)	14:00-16:00	第327回歴博講演会 「爆発した前方後円墳信仰」	国立歴史民俗博物館
18日(金)	18:30-20:30 (開場:17:30)	みんなく公開講演会「自然と向きあう人びとの 今——太平洋とアフリカに見る——」	大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1
19日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	「特別展 ウメサオタダオ展」関連 第394回みんなくゼミナール「みんなく誕生」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html			
19日(日) -20日(月)	19日: 13:00-17:00 20日: 10:00-15:00	公開ワークショップ・パフォーマンス 表現で出会う・行動でつながる「インド刺繍 ～思いと出会う・願いでつながる～」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/110319-20.html		
20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第197回講演	国立民族学博物館
23日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 特別回「新しい情報社会の扉を開く 量子技術—量子コンピュータは本当に実現 できるのか?—」	学術総合センター 2階中 会議場
		http://www.nii.ac.jp/shimin/	
26日(土)	13:30-15:30	第144回くらしの植物苑観察会 「春を告げる華花」	国立歴史民俗博物館
27日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第198回講演	国立民族学博物館

4月

日程	時間	行事名	場所
3日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第199回講演	国立民族学博物館
9日(土)	未定	第30回宇宙科学講演と映画の会	新宿明治安田生命ホール 主催:JAXA 宇宙科学研究所
10日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第200回講演	国立民族学博物館
17日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第201回講演	国立民族学博物館
24日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第202回講演	国立民族学博物館

【編集後記】

総研大ニューズレター第 33 号をお届けします。

立春を過ぎ、暦の上では春になりました。まだまだ寒さは厳しいですが、あちこちで梅の花が咲き始め「梅一輪一輪ほどの暖かさ」を感じるこの頃です。この季節葉山では、相模湾越しに冠雪した富士山を見ることができ、毎朝清々しい気分になります。

さて、本号ではサイエンスカフェや講演会の記事が掲載されています。独法化後、大学においては社会との連携が教育や研究と並んで重要な位置づけになっており、研究成果を一般市民にわかりやすく伝えて社会への還元を図るための活動としてサイエンスカフェや講演会などの取り組みは今後益々活発になるかと思われま

す。これらの活動に参加された方々が総研大の研究に興味を持ち、ひいては大学の教育研究にご理解いただけることを期待しております。

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2011 年 2 月 9 日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2011 SOKENDAI